

原発をなくす全国連絡会連続学習会”第11弾” 再生可能エネルギー 普及の意義と課題

～再生可能エネルギーへの転換に向けて～

「世論の力」で約2年間、日本では1基の原発を動かさなくても、電力が多く必要な猛暑と冬を乗りきってきました。原発に頼らなくてもやっていけることが証明されました。今こそ、安倍政権は原発からの撤退を決断し、国内のすべての原発を速やかに廃止し、エネルギー政策を再生可能エネルギー中心に転換すべきです。ドイツではすでに再生可能エネルギーがすべてのエネルギーの30%を超えました。政府が決断すれば転換できるのです。そこで、今回は「再生可能エネルギーの普及の意義と課題」と題して連続学習会“第11弾”を開催します。

当日は、長年にわたり原発問題や再生可能エネルギーの普及活動に関わっていらした吉井英勝氏を講師に招いて、各地の実践を交えてわかりやすくお話いただきます。また、市民と共同して再生可能エネルギーの発電所を作り、そこで活動されている田中哲男氏にも現地の実践報告をお話いただきます。多くのご参加をお待ちしております。

日時:2016年7月26日(火) 18:30～20:30

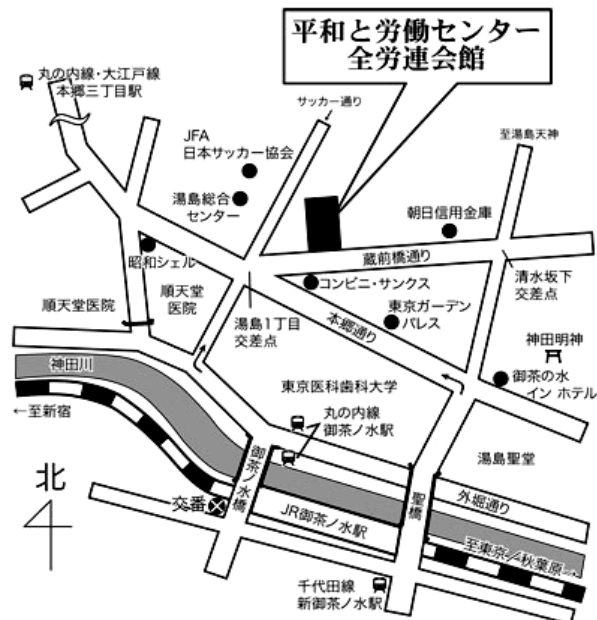
会場:全労連会館2Fホール (文京区湯島2-4-4)

アクセス:JR中央線「御茶ノ水駅」・丸の内線「御茶ノ水駅」下車 徒歩8分

参加費:無料



講師:吉井英勝氏 (元衆議院議員)



1942年生まれ、京都大学工学部原子核工学科卒、参議院議員(1期)、衆議院議員(7期)を経て、現在NER(「原発・エネルギー・地域経済研究会」)代表。著書「原発抜き・地域再生の温暖化対策へ」(新日本出版)「国会の警告無視で福島原発事故」(東洋書店)など。

現地報告:田中哲男氏(NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所 副理事長)

主催:原発をなくす全国連絡会

連絡先:全日本民主医療機関連合会 TEL:03-5842-6451 担当:木下興・野口